

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月10日(金)、第二次締切3月7日(火)

市町名	富士宮市		優先順位	1
課題タイトル	朝霧高原の魅力発信プロジェクト			

課題の概要(背景や理由等)	富士宮市北部に位置する朝霧高原は、ススキ草原や牧草地の広がる自然豊かな地域であり、また、キャンプやパラグライダーなどのアクティビティも豊富で県内外から観光客が訪れる場所となっている。 しかし、「朝霧高原＝富士宮市」のイメージにつながっておらず、魅力ある資源を十分に活かしてきていない。
希望する調査研究内容や期待すること	朝霧高原にある地域資源の掘り起こしや富士宮市内の他の観光スポットを結ぶモデルルートの構築など、朝霧高原の魅力を富士宮市の魅力として発信していく手法について、若者目線での提案を期待する。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	富士宮市観光協会 富士宮商工会議所
ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	所有施設の無償使用(会議室等) 上記団体等への紹介

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ(担当教員)		ゼミ連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	企画戦略課 地域政策推進室
電話番号	0544-22-1215
E-mail	kikaku@city.fujinomiya.lg.jp
28年度担当者	佐野 龍貴

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月10日(金)、第二次締切3月7日(火)

市町名	裾野市		優先順位	1
課題タイトル	プログラミング教育に先駆けた小中学生向けICT講座の開講			

課題の概要(背景や理由等)	国(文部科学省)では、次期学習指導要領の改訂に合わせ、プログラミング教育が、小学校では2020年から、中学校では2021年から必修化されることが示されている。そこで、希望する児童・生徒に対し、必修化されるまでの間に、ICTを活用したプログラミングに触れる機会を創出・増加させると共に、児童生徒のみならず市としてもプログラミング教育の素地を整えたい。
希望する調査研究内容や期待すること	小学校高学年の児童には簡単なプログラミング演習を、中学校の生徒に対しては授業より高いレベルでのプログラミング演習の講座を開催し、当年度だけでなく、2020年まで継続して開催できる仕組みやカリキュラムの提案・実施を希望する。また、本講座を受講したことで、将来の進学や就職先としてICT関係を希望する生徒が増えるような工夫のある講座内容を期待する。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	
ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のパソコン室内PC(40台程度) ・中学校インターネット回線100Mb

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	沼津工業高等専門学校	学部等	電子制御工学科
ゼミ(担当教員)	川上誠教授	ゼミ連絡先 E-mail	kawakami@numazu-ct.ac.jp

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	企画政策課
電話番号	055-995-1804
E-mail	kikaku@city.susono.shizuoka.jp
28年度担当者	渡邊彩

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

市町名	伊豆の国市		指定	29
課題タイトル	東京オリンピック・パラリンピック事前合宿地に求められるニーズとおもてなしについて			

課題の概要(背景や理由等)	東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿に、モンゴルの柔道選手団が伊豆の国市を訪れることになっている。合宿地として求められるニーズは何かがあるのか、又、市民のもつ「おもてなしの心」を伝えるために、伊豆の国市としてどのようなことが出来るのか調査を行いたい。 この機会を通じて市民との交流にもつなげていきたい。
希望する調査研究内容や期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル柔道選手団の合宿地に求めるニーズについての調査 ・他の事前合宿地でおこなわれている活動についての調査 ・伊豆の国市ならではのおもてなしの研究
情報収集や意見交換等で連携する団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆の国市スポーツ振興課 ・伊豆の国市観光協会 ・伊豆の国市旅館組合 ・伊豆の国市商工会等
ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室の貸与、関連団体の紹介等

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ(担当教員)		ゼミ連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	市長戦略部政策推進課政策推進係
電話番号	055-948-1413
E-mail	seisaku@city.izunokuni.shizuoka.jp
28年度担当者	江間萌香

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

市町名	伊豆の国市		指定	30
課題タイトル	モンゴル国と国際交流員サロールさんの紹介イベントの実施とその検証			

課題の概要(背景や理由等)	伊豆の国市では、モンゴル国ソングノハイラン区と友好都市協定を結んでいる。本市の政策戦略課に勤務する国際交流員のサロールトヤ・ハルバートルさんが、モンゴルの芸術や文化について、ラジオや各種教室を通じて市民にPRしているが、十分に認知されているとは言えない状況である。
希望する調査研究内容や期待すること	・モンゴルの芸術文化の調査 ・市民向けに、モンゴルの芸術や文化等を紹介するイベントを実施するとともに、その効果について検証する。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	・伊豆の国市友好都市交流協会等
ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	・会議室の貸与、関連団体の紹介等

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ(担当教員)		ゼミ連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	市長戦略部政策推進課政策推進係
電話番号	055-948-1413
E-mail	seisaku@city.izunokuni.shizuoka.jp
28年度担当者	江間萌香

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月10日(金)、第二次締切3月7日(火)

市町名	伊豆の国市		指定	31
課題タイトル	モンゴルとの農業を通じた交流の提案・検証			

課題の概要(背景や理由等)	<p>モンゴルでは、10月末～4月あたりまで寒く、土地が凍ってしまうため農業を行うことが難しい。日本では、冬でも農業を行うことができ、特に伊豆の国市では冬がメインのイチゴの栽培を行っている。</p> <p>そのため、モンゴルで農業を行えない期間、伊豆の国市に人材提供をしてもらうことで伊豆の国市の農業労働力となっていたかかわりに、日本の農業技術をモンゴルへ提供するという取組を進めていくための調査を行いたい。</p>
希望する調査研究内容や期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆の国市の農業労働力のニーズ調査 ・他で同じような取組をどのように行っているかの調査
情報収集や意見交換等で連携する団体等	
ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	<ul style="list-style-type: none"> ・会議室の貸与 他

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ(担当教員)		ゼミ連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	政策推進課
電話番号	055-948-1413
E-mail	seisaku@city.izunokuni.shizuoka.jp
28年度担当者	江間萌香